映画館×カフェ×シェアハウス、ここにしかない空間

つい長居するほど心地よい大宮で唯一のミニシアター

「ただいま」と通える映画館 ここが好き!!

大宮に復活！新しい映画館でもどこか懐かしさを感じる空間

かつて大宮駅東口には単館系映画館が多数存在していました。私もよく通ったものです。2000年代に最後の映画館が閉館。大宮から映画館は姿を消しました。

それから約20年…大宮にミニシアターが復活！2025年4月29日、大宮駅西口から徒歩5分、大宮区桜木町の住宅街にオープン。珍しいのはカフェとシェアハウスを併設している唯一無二の施設だということ。落ち着いた雰囲気の映画館にシェアハウス？と思った方も多いはず。疑問に思ったことを聞いてきました。

厳選されたこだわりの作品を上映 今では貴重な映画も

「OttO（オット）」では専門の編成担当者が作品の選定から配給会社との交渉までの全てを担当。映画ファンの間で人気の作品やシネコン（大型映画館）ではなかなか上映しなかった作品、音楽、アート、ドキュメンタリー作品などを厳選しています。コアなファンはもちろん、子どもも楽しめる作品も。通常席のほかに、二人掛けソファクッション席や個室親子鑑賞室、車いすスペースなどを、追加料金なしで楽しめるのも魅力です。

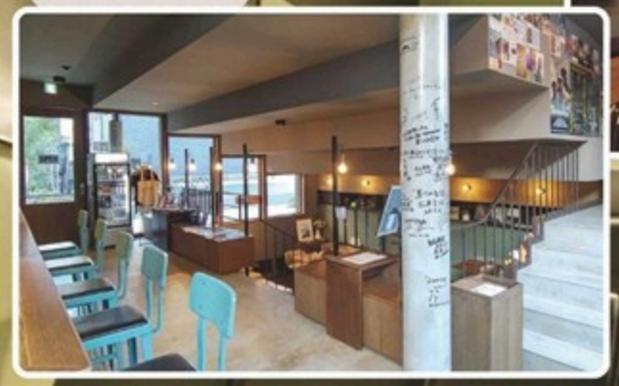
映画館を軸に「人」が集まる場所 新旧のコミュニティも誕生

オープン前から注目を浴び、オープン直後には大宮唯一のミニシアターとして認知され、人気作品は常に大盛況。加えてシェアハウスも話題に。代表の今井健太（いまいけんた）さんによると、建物を単に建て替えするだけではつまらない、街づくりの一環として人が集まる映画館×カフェ×シェアハウスを作ろうと「思いつきで考えた」と謙遜します。

カフェには、鑑賞後に作品について語らう人たちのほか、近隣に昔から住む人や最近越してきた人も子連れで訪れたりするそう。シェアハウスにも新しい集いが生まれ、昔と今が融合する新たなコミュニティが生まれているとか。今井さんは「人が集まる場所を作りたかった。映画＋カフェの利用はもちろん、ただの通り抜けやトイレ利用のみもOK」とのこと。

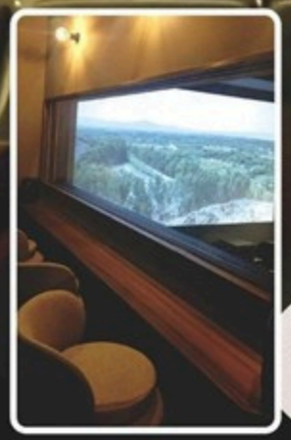
その言葉の通り、カフェはテーブル席とカウンター席の間に通路があり、両側の向かい合わせの扉から人が自由に出入りできる珍しい造り。「カフェの利用者だけでなく、近隣の方も気軽に通り抜けできるようにしたかった」そうです。

唯一無二の斬新な発想で作られた映画館に集まる映画ファンと、近隣住人やシェアハウス居住者から生まれる新しい形のコミュニティにあなたも加われるかもしれません。



映画館の下のカフェ。階段状の天井の上が映画館の座席。通路を挟んだカウンターもカフェスペース。

シェアハウスの共有ダイニングキッチン。住人同士で料理をしたり、話したり、ゲームをしたりしているそう！



子どもが声を出しても安心の個室を併設。映画の音量も自分たちで調節できるのが嬉しい！

席数50席と小さなシアターですが、全国で2番目に導入された最新の音響設備と、山形県鶴岡市の老舗映画館から譲り受けた特注品のシートが自慢。最前列は、ペアで利用できる二人掛けのソファクッション席。

Data

HP

Instagram

OttO（オット）

- さいたま市大宮区桜木町1-345
- JR大宮駅西口から徒歩5分
- 【映画館】上映作品により異なるのでHPをチェック
  【カフェ】9:00〜21:00/水曜12:00〜18:00
- 048-871-8286
- 不定休
- 無し（駐輪場：3台）

市民ライター

MAYUさん（大宮区在住）

私が取材しました！

生まれも育ちもさいたま市。スポーツ観戦やゴルフ、LIVE参加など体を動かすのが趣味のフリーライター。本業と長年在住の情報力を活かして魅力をお伝えします。